

小岩井自治会

みんなが楽しめる親睦行事

小岩井自治会の親睦行事として大きなものは夏祭りと文化祭。8月に行われる夏祭りでは各団体が出店し中学生も活躍するほか、ふうりん保育園児による踊りの披露や、さんさ踊り、抽選会などで盛り上がる。

11月に行う文化祭は作品展示だけではなく、野菜販売や食堂も設けて2日間行われる。この野菜販売を目的に自治会以外からの参加もあり、毎年300人を超える盛況ぶりを見せている。



夏祭り

コロナ禍での取り組み



ふうりん寺子屋

令和2年度、コロナ禍で家にこもりがちになっていた地域住民の運動不足解消を目的としてス

タンプウオークを開催。福祉部・婦人部・育成会が中心となって、コース内数か所にスタンプを設置。適度に体を動かせる内容のため、子どもからお年寄りまで、幅広い年代が参加した。令和3年度は景品も用意。コロナ禍で売り上げが減少してしまった地元飲食店を応援するために、店側と相談して食事券も景品とした。

また、臨時休校の要請時には、親の共働き等で行き場のない小学生のために「ふうりん寺子屋」を開設。小岩井地区コミュニティセンターを会場に、平日10時～15時まで、午前中は学校の時間割に沿って自習を含む勉強時間。持参したお弁当を食べた後は子どもたちで換気を兼ねた清掃、午後は絵本の読み聞かせやカルタ、ゲームや工作を楽しんだ。地域の見守り隊や教員OB、高校生と大学生による「にわか先生」がボランティアとして活躍し、登下校時はスクールガードが付き添いや見守りをした。例年通りの活動ができない時期だったが、眼前の課題を吸い上げ、その時に必要な活動を自治会全体で取り組むことができた。

地域の安全を守る活動



スノーバスターの皆さん

自治会の中学生が中心となって地域の除雪活動を行う「スノーバスター」は10年以上継続して取り組んでいる。また、自主防災会の活動は年1回行っており、避難所開設やダンボールベッドの組み立て、婦人部の炊き出し練習などを行う。令和3年度に小岩井地区コミュニティセンターにAEDを設置したことから、今後はAEDの講習も防災訓練の内容に取り入れていきたい。